

平成二十六年十二月定例会 総括質疑

深見 迪議員

川村多美男議員

問 教育委員会制度「改正」後も①中央集権でなく地方分権、②民意の反映③一般行政(首長)からの独立の3つの根本方針は、改正後においても変わらないか。

答 基本的に変わらない。

問 町立病院の窓は老朽化し、風も音も入ってくる。早期に改修を進めるべきではないか。

答 少しずつ改善している。

問 市街地で野良猫が増え、どこにかしてほしいとの苦情が寄せられた。町で猫駆除の対応・対策はあるのか。

答 野良猫に餌をあげないように住民の共通認識に立ち指導したい。

問 自主財源の確保からも、ふるさと納税のコンビニ納税の考えはどうか。またコンビニ納税が可能なら町のホームページでも紹介すべきだ。

答 27年度からコンビニ収納も含めて納付の仕方は選択してもらう。

問 勤労者会館の大会議場のステージ・天井

に幾つもの穴が開き非常にみすぼらしいが改修すべきだ。

答 27年度に解体することになっている。

問 ビルカトワロの今後活用はどのように考えているのか。郷土館は古く老朽化しているが隣接のビルカトワロを活用すべきではないか。

答 建物の調査結果が今月中に出るので、結果を受けて考える。郷土館の機能は別にしても建物は大事に守っていききたい。



問 高齢化社会に対応した安心ネットワーク事業の一環として宅配事業者の活用も取り入れていくべきと思うがどうか。

答 昨年安心ネットワークの再構築をしたが今後検討をしたい。

熊谷 善行議員

問 オータムフェスタ等の旅費の支出に間違いはないか。釧路地域活性化協議会の事業終了に伴う、本町の今後の観光物産PR事業の方向性は。

答 オータムフェスタ、北海道フェアの旅費は、平成25年度、26年度も全額生産者が負担していた。管内統一で事業をするのは困難だ。関係団体と協議して検討していきたい。



問 クリーンセンターの新焼却炉の熱回収システムと回収熱の使用計画は。

答 トータルコストで一番効果的なのが生ごみ等燃焼するために総熱量の90%以上が使われ、回収熱量は3%くらいだ。回収熱量の利用は議論したい。

館田 賢治 議員

問 がんばる交付金の活用内容は？

答 経済対策として創設され、麻生七号線の改修等に充当している。

問 特別交付税で医師対策の内容と金額は決定したのか。

答 12月交付分の内、町立病院分は7、894万円である。今日まで医局訪問をし、新年度も現状の体制を依頼しているが、まだ明確ではない。

問 新年度から医師の研究制度が変わると聞かすが、医師確保は大丈夫なのか。

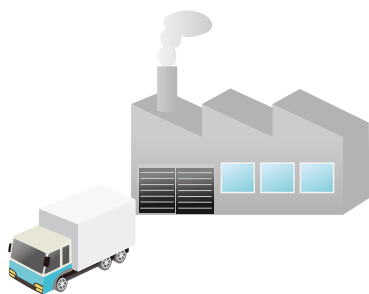
答 札幌大は今まで通りの派遣で、北大・旭川大は1月末くらいにわかる。

問 機分内美幌堆肥舎維持・管理についての体制はどうなったのか。

答 修繕要望があったが、事業執行していない。現在2戸の利用で堆肥処理が行われている。

問 と畜場（食肉加工センター）の建設が1年延びた経緯と課題解決に向けての取組みについて。

答 12月には事業ヒアリングに向けてきたが、下流の理解が得られる努力をすべき作業を進めている。食肉の販売計画がまだ決まらず先送りにした。過疎債も施設に特徴がないと難しい。



平成25年度 決算を認定

平成25年度決算審査特別委員会が平成26年10月20日・21日に行われ、審査の結果認定すべきものとなり、12月9日開催の第4回定例会で認定されました。

項目	平成25年度決算額
一般会計	歳入決算 108億6,299万円
	歳出決算 107億5,509万円
	差し引き 1億790万円
特別会計	歳入決算 33億5,584万円
	歳出決算 32億8,664万円
	差し引き 6,920万円
公営企業会計	歳入決算 12億3,636万円
	歳出決算 12億3,039万円
	差し引き 597万円

平成二十五年 度 標茶町各会計 決算審査特別委員会

総括質疑

本多 耕平 議員

問 平成10年に寄付された農機具の対応はどのようになっているのか。

答 町営牧場事務所前に収納しているが、活用の具体的な検討案の作成には至っていない。



問 上オソツベツの町営牧場の今後の利用計画はあるのか。

答 費用対効果を考えながら採草地は広がっている。施設設備はあるのでいろいろな場面において運用していく。

問 しべちや齋場周辺の環境整備をすべき。

答 齋場は安らぎ・癒しの場として、道路や前庭を含めて周辺の環境整備を次年度に向けて検討する。

熊谷 善行 議員

問 釧路地域活性化協議会の、東京での北海

道フェアへの出店者の旅費負担は。

答 釧路地域活性化協議会と本町の旅費規定により負担している。

問 釧路地域活性化協議会の事業完了後の観光物産PRの計画は。

答 オータムフェスタへの参加は流動的であるが、観光協会や関係団体と町と連携して検討していく。

問 町内の観光施設や飲食店等において、訪問者に対する観光ホスピタリティーの向上状況は。

答 北海道で作成している指さし言語の活用を、商工会を通して行っている。

深見 迪議員

問 労働安全衛生規則に基づき、改築する機分内

小学校の職員トイレを、男性用と女性用に区別し設置すべきではないか。

答 身障者トイレ併用で男女の区別を計画しているが、その他の施設についても学校側と協議しながら進める。

問 2000万件を超える情報流失をした、教育産業ベネッセに委託する学力テストは中止すべきではないか。

答 調査はごく一部の面であり、子供たちの学力定着のための資料として活用していく。

問 実施を約束していた、働く親を支援するファミリーサポートセンターを早期に実施すべきではないか。

答 社会福祉協議会の5カ年の実践計画の策定をもって、今後も協議検討していく。

館田 賢治議員

問 予備費の流用支出の内容について。

答 災害に係る事故等5件と、昨年の事故による保険料として充当した。

問 アイヌ住宅改良資金貸付金、農業費分借金未収金の増に係る現状と対策について。

答 債務の確認を行い公平性の観点から、各課の連携強化を図り関係団体と協議しながら対応したい。

問 食材供給施設「ピルカトウロ」の休業に伴う、委託業者の契約解約に伴う処理について。

答 平成25年度末で契約解消し施設からの退去も完了し、什器備品の確認も含めて終了した。

問 標茶酪農再興事業の実績・成果と、来年度の予算増について。

答 JA標茶との協議で中長期農家改善計画の一つとして5年間草地更新を進める。平成25年度は188.9haにとどまったが、平成26年度も同額予算を計上している。バイオマス事業についても引き続き調査研究を進める。

問 ニューホーム対策の実績と今後の対策。

答 協議会参加団体みずから講習会を開いたり、釧根自治体が連携を取り関西女性との交流出合いの場を企画している。

問 町立病院の北海道厚生局調査による診療報酬収益の経理処理について。

答 経理上の問題はないが、今後の業務報告で理解を得るようにする。

問 農業者所得の増加を中心とした自主財源を上げる経済対策を図るべき。

答 農業振興策など地域振興を力強く進める。

問 多和育成牧場の綿羊飼育の環境整備について。

答 飼育舎・放牧地の環境整備を検討していく。

